



Z HOLDINGS

**デジタル市場競争会議ワーキンググループ
ヒアリング会合ご説明資料**

2021/3/15

Zホールディングス株式会社

常務執行役員 Group Chief Trust & Safety Officer

中谷 昇

本日お伝えしたいこと

1. はじめに —デジタル広告が実現したものは—
2. 共同規制による対応をお願いしたい課題
3. 業界団体による取組に任せていただきたい課題
4. 政府による後押しをいただきたい課題
5. 最後に



1. はじめに

デジタル広告が実現したものは

「広告の民主化」

低コストで効果的な
広告配信



中小企業の活躍

地方創生に貢献

地方の中小企業
のニーズも高い

ユーザーの 課題解決

有用なサービスに
無料でアクセス

メディア産業の 活性化

コンテンツのDX（デ
ジタルトランスフォー
メーション）を推進

イノベーションの妨げになるような規制は、皆にとってマイナス

事業者の主体的な取組の促進が重要



2. 共同規制による対応を お願いしたい課題

課題

利益相反
自社優遇

契約変更
システム変更

パーソナルデータ

現在の取組

情報管理

事前の通知

プライバシーセンター

今後の取組

共同規制的なアプローチを採用し、
取組の具体的な内容は事業者の創意工夫に委ねていただきたい。

特に、利益相反等リスクのタイプや大きさは、プラットフォーム事業者によって千差万別
→求める取組のレベルも、事業実態に応じて相当幅のあるものとしていただきたい。



3. 業界団体による取組に 任せていただきたい課題

課題

アドフラウド

ブランドセーフティ

現在の取組

- リスクのある配信の未然防止
- 判定基準の開示
- 不正クリックの数や率を広告主に開示。開示する情報は今後拡充
- 取組状況の公開等

今後の取組

広告業界団体が「デジタル広告品質認証機構」(JICDAQ)を設立予定 → 適切な対策をしている事業者を認証

まずは、業界団体による自主的な取組に委ねていただきたい。

(補足) JICDAQによる取組

プラットフォーム事業者
媒体社

1

関係する業務プロセスの
監査基準を
制定

2

それに沿い業務を適切
に行っている
事業者を認証

3

認証した事業者名を
公開

広告主

理念に賛同する広告主名を公開

プラットフォーム事業者・媒体社・広告主が連携し、取り組んでいく。



4. 政府による後押しを いただきたい課題

課題

アドフラウド

問題点

摘発事例がほぼなし
=不正をしようとする者への抑止力に欠ける。

不正者は、何度も、審査を潜脱してアカウントを開設し、不正を繰り返そうとする。

不正者の摘発体制の強化をお願いしたい。

事業者同士が不正者に関する情報を共有する仕組みづくりに向けて、後押しをお願いしたい。

課題

機微情報を利用したターゲティング広告の規制

問題点

**業界団体による取組（ガイドライン策定等）では、
業界団体に参加していない事業者による不適切なターゲティ
ング広告を規制できない**



政府として、ガイドラインの策定をお願いしたい。



5. 最後に

- **共同規制の下、主体的にルールメイキングに参画していく所存。**
- **海外事業者含め、全ての事業者が透明性確保に全力をあげて取り組むよう、ぜひ後押しを願いたい。**



EOP